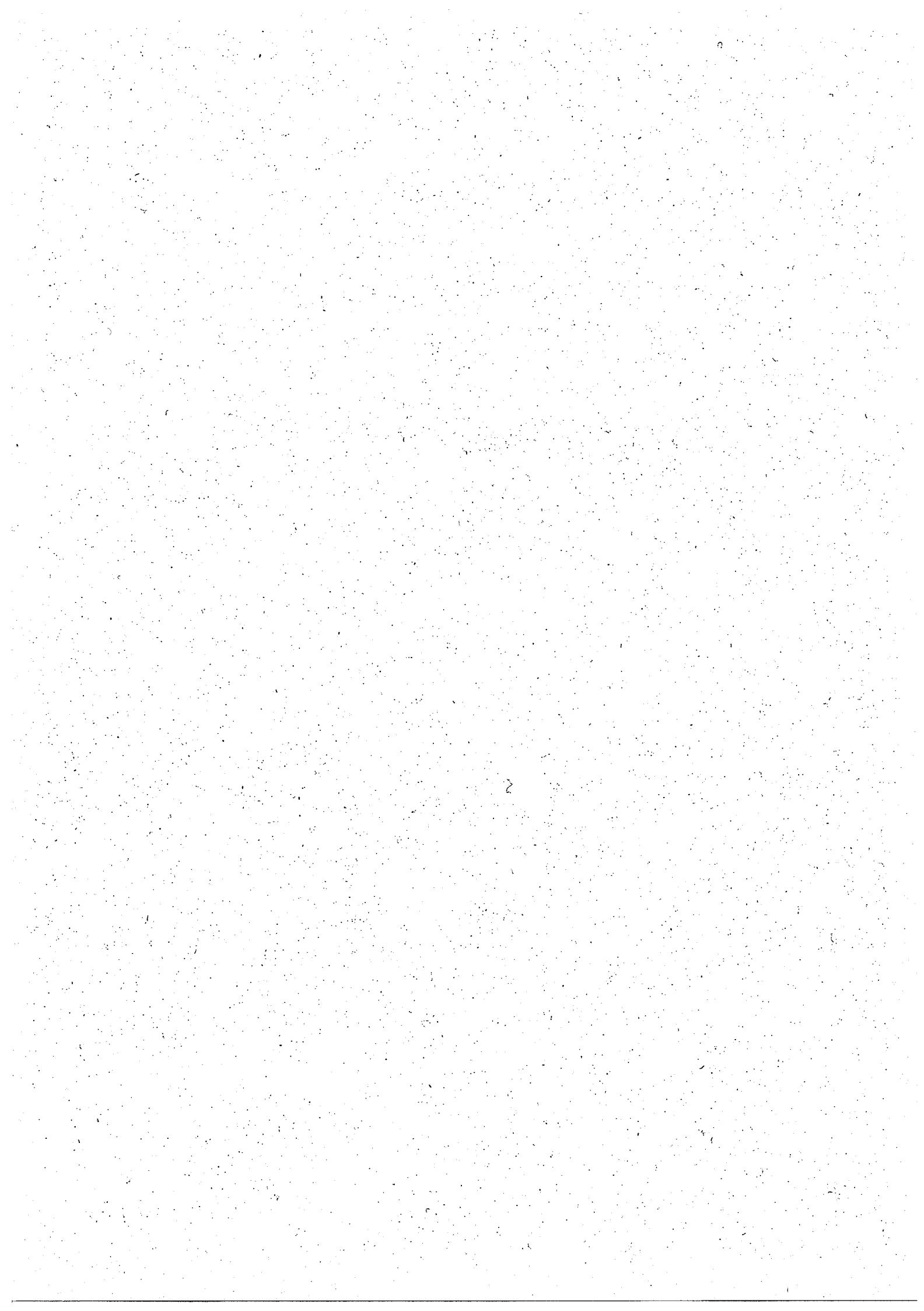


資料1-1

「川島町環境基本計画」に基づく 令和2年度施策の進捗状況について

～これは「雑紙(ざつがみ)として処分できます～



施策取組状況確認シート	
基本方針	1 自然環境の保全
対象分野	1 自然景観
環境保全の目標	自然景観の形成により、田園景観を適正に保全する。
行政の施策	① 田園環境の保全と農業の活用 ② 自然景観の保全・創出に向けた広報・PR
取組事業名	② 美化運動等に係る住民への周知
計画期間	・全地区対象の美化運動は6月、10月、2月の年3回実施。 ・安藤川をきれいにする会による安藤川沿いのクリーン作戦(14地区対象)と、埼玉県央域荒川クリーン協議会における荒川河川敷不法投棄一斉撤去(関係機関職員対象)は11月の同日実施。
成果指標	長い年月をかけて毎年の恒例行事となった美化運動を、地域の要望を汲み取って気持ちよく継続していただくことが重要であり、目標設定になじまない。広報・PRは継続して実施していく。
R2実績値	・令和2年度の美化運動については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となった。 ・安藤川をきれいにする会による安藤川沿いのクリーン作戦についても同様に中止。 ・埼玉県央域荒川クリーン協議会における荒川河川敷不法投棄一斉撤去に対しては、コロナ禍ではあるが、規模を縮小して実施。
R3目標値	目標設定になじまない。
最終目標値(終期)	目標設定になじまない。
進捗状況(%) R2実績値／R3目標値	目標設定になじまない。
課題	・全地区対象の美化運動に対して、地区独自の活動である「もがり」もあるため、地区的負担が大きいという声がある。 ・参加者は高齢者が多く、年々人員の確保が困難になっている。 ・中山(八幡団地)地区より、美化運動時の臨時収集箇所を増設してほしいという声がある。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、R2年度は中止とした。今後は、美化運動のあり方や開催方法などについて、見直しの必要がある。
実施・進捗状況評価	△:やや取組が遅れている
目標達成度評価	—:評価に馴染まない(数値目標に馴染まない等)
担当課	市民生活課(生活環境グループ)

施策取組状況確認シート	
基本方針	1 自然環境の保全
対象分野	1 自然景観(農地)
環境保全の目標	自然景観の形成により、田園景観を適正に保全する。
行政の施策	① 田園環境の保全と農業の活用 ② 自然景観の保全・創出に向けた広報・PR
取組事業名	①-1 経営所得安定対策推進事業 ①-2 多面的機能支払交付金事業 ①-3 農地集積事業
計画期間	①-1、①-2、①-3 毎年度実施
成果指標	①-1 需要に応じた生産の促進。 ①-2 各年度ごとに活動組織1組 追加。 ①-3 農地中間管理事業を活用し、農地を集積。
R2実績値	①-1 県の生産目安に対する水稻作付け率99.1% 目標達成。 ①-2 新たな組織設立とならなかつたが、設立の準備をした。 ①-3 約85haの農地を集積した。累計701ha。
R3目標値	①-1 水稻の生産数量目標の達成。 ①-2 1組織増やし計5組織にする。 ①-3 農地中間管理事業を活用した農地集積面積 累計750ha。
最終目標値(終期)	①-1 需要に応じた生産の達成。農業者の所得向上。 ①-2 各年度1組織設立。各地区ごと(旧村単位)に1組織以上。 ①-3 農地中間管理事業を活用した農地集積面積 累計750ha。
進捗状況(%) R2実績値／R3目標値	①-1 100% ①-2 80%(4組織/5組織) ①-3 93%(701ha/750ha)
課題	①-1 主食用米の消費低下等による、米価の下落。 ①-2 地区で事業を推進するリーダーがいない。事務が煩雑。 ①-3 未登記農地。制度が活用できない農地(狭小、陸田、放棄地等)。
実施・進捗状況評価	○:概ね実施・進行している。
目標達成度評価	○:概ね達成した(目標に対して80%以上100%以下を達成)
担当課	農政産業課

施策取組状況確認シート	
基本方針	1 自然環境の保全
対象分野	1 自然景観
環境保全の目標	自然景観の形成により、田園景観を適正に保全する。
行政の施策	① 田園環境の保全と農業の活用 ② 自然景観の保全・創出に向けた広報・PR
取組事業名	② 桜づつみ及び、川の広場・さくら通りの保守管理
計画期間	② 通年(隨時実施)
成果指標	② 釘無地内堤防上の桜堤及び、川の広場・さくら通りの適正管理の実施。
R2実績値	② 業務委託による管理を実施
R3目標値	② 目標設定になじまない
最終目標値(終期)	② 目標設定になじまない
進捗状況(%) R2実績値／R3目標値	② 目標設定になじまない
課題	② 業務委託による管理を実施しているが、対象地が広範囲に及び、除草作業回数も限りがある。年間を通した管理が困難である。
実施・進捗状況評価	○:概ね実施・進行している。
目標達成度評価	—:評価に馴染まない(数値目標に馴染まない等)
担当課	まち整備課都市計画G

施策取組状況確認シート

基本方針	1 自然環境の保全
対象分野	1 自然景観
環境保全の目標	自然景観の形成により、田園景観を適正に保全する。
行政の施策	① 田園環境の保全と農業の活用 ② 自然景観の保全・創出に向けた広報PR
取組事業名	① 学校給食センターの運営事業(地元産食材の利用拡大)
計画期間	① 毎年度実施(通年実施)
成果指標	① 地元産食材の使用割合 ※「米」については、川島町産米 ※「いちじく」及び「いちご」に関しては旬の時季における給食提供には、全量町内産を使用する。その他の食材については、指標として定めることが困難
R2実績値	① 米については、「川越藩のお蔵米 彩のきずな」を100%使用している。 なお、令和元年度(平成31年度)より、KJブランド認証米であり、減農薬・有機肥料の使用を徹底した「川越藩のお蔵米 彩のきずな」を学校給食で使用している。 ② いちじく及びいちごについても、町内産を100%使用している。
R3目標値	本町は水田地帯であり、野菜の作付面積が限られるため、品目や収穫量が少なく、必要数量を安定して確保できないことから、地場産食材の活用割合を増やす工夫を行っていく。
最終目標値(終期)	① 米・いちじく・いちごについては、100% ② ①以外に使用できる品目を増やしていく(目標値の設定にはなじまない)
進捗状況(%) R2実績値／R3目標値	① 米・いちじく・いちごについては、100% ② ①以外の食材については、品目や使用方法の検討が必要。(目標値の設定にはなじまない)
課題	本町は水田地帯であり、野菜の作付面積が限られるため、品目や収穫量が少なく、安定した必要量を確保できないことがある。
実施・進捗状況評価	—:評価に馴染まない(数値目標に馴染まない等)
目標達成度評価	—:評価に馴染まない(数値目標に馴染まない等)
担当課	教育総務課(給食グループ)

施策取組状況確認シート	
基本方針	1 自然環境の保全
対象分野	2 河川、水辺
環境保全の目標	水辺空間を保全・回復し、身近な自然としてのを推進する。
行政の施策	① 水辺空間の保全の推進 ② 水辺空間の利用の推進
取組事業名	①、② 川の国埼玉はつらつプロジェクト ※県が実施する水辺空間の整備。越辺川・入間川における魚道の整備など。
計画期間	①、② 毎年度
成果指標	①、② 各種イベントに参加し、事業PR活動
R2実績値	①、② 下記イベントに参加し、事業PR活動を実施 4月 輪中の郷ウォーキング(中止) 11月 農業商工祭(中止)
R3目標値	事業PR活動
最終目標値(終期)	事業PR活動
進捗状況(%) R2実績値／R3目標値	①、② 100%
課題	①、② 新型コロナウイルス感染拡大防止のためイベントの中止
実施・進捗状況評価	—:評価に馴染まない(数値目標に馴染まない等)
目標達成度評価	—:評価に馴染まない(数値目標に馴染まない等)
担当課	農政産業課

施策取組状況確認シート	
基本方針	1自然環境の保全
対象分野	2河川、水辺
環境保全の目標	水辺空間を保全・回復し、身近な自然としての利用を推進する。
行政の施策	① 水辺空間の保全の推進 ② 水辺空間の利用の推進
取組事業名	② 平成の森公園内に整備された水辺空間の管理
計画期間	② 通年(隨時実施)
成果指標	② 平成の森公園内の「修景池」「ショウブ園」の景観を維持するために適切な維持管理を実施。
R2実績値	業務委託による管理を実施
R3目標値	② 目標設定になじまない
最終目標値(終期)	② 目標設定になじまない
進捗状況(%) R2実績値／R3目標値	② 目標設定になじまない
課題	・施設の老朽化が著しい。施設の更新または長寿命化の検討が必要である。 ・修景池の植物(古代蓮)が増殖し過ぎたため、景観を損ねる。適正な管理が課題である。
実施・進捗状況評価	○:概ね実施・進行している。
目標達成度評価	—:評価に馴染まない(数値目標に馴染まない等)
担当課	まち整備課都市計画G

施策取組状況確認シート	
基本方針	1 自然環境の保全
対象分野	3 動植物、生態系
環境保全の目標	本来の生態系を回復し、貴重な生態系を未来に伝える。
行政の施策	① 生物生息空間の確保 ② 外来生物対策の推進
取組事業名	①-1 長楽用水路生息魚類分布調査 ①-2 魚介類の保護培養のため乱獲禁止看板を設置 ②町環境保全条例に基づく外来魚種の規制。オオキンケイギク、セアカゴケグモ、クビアカツヤカミキリの駆除の周知
計画期間	①-1 平成17年度(調査実施年度) ①-2 平成20年度() ②毎年度
成果指標	①、② 生物関連の苦情件数
R2実績値	①、② 生物関連の苦情件数(R2年度は2件) ①-1 長楽用水路に生息する魚類を捕獲採集して分布を確認し、「埼玉県川島町長楽用水路生息魚類分布調査報告書」がある。 ①-2 魚介類の保護培養のため、町内30箇所に乱獲禁止看板を設置。 ②町条例に基づき指導する。町広報紙、町HPに掲示。外来魚種、オオキンケイギクは自生を確認したい駆除。セアカゴケグモ、クビアカツヤカミキリは町内では発見の連絡は受けていない。
R3目標値	①、② 生物関連の苦情件数 0件
最終目標値(終期)	①、② 生物関連の苦情件数 0件
進捗状況(%) R2実績値／R3目標値	①、② 未達成(R2実績値 2件／R3目標値 0件)
課題	①-1、①-2 ・他の場所は実施していない。 ・平成20年度以降実施していない。
実施・進捗状況評価	○:概ね実施・進行している。
目標達成度評価	△:目標を下回った(目標に対し80%未満)
担当課	市民生活課(生活環境グループ)

施策取組状況確認シート	
基本方針	1 自然環境の保全
対象分野	3 動植物、生態系
環境保全の目標	本来の生態系を回復し、貴重な生態系を未来に伝える。
行政の施策	①生物生息空間の確保 ②外来生物対策
取組事業名	①②-1 川島町鳥獣被害防止計画 ①②-2 埼玉県アライグマ防除実施計画に基づく、防除の実施
計画期間	①②-1 令和3年度～令和5年度 ①②-2 毎年度実施
成果指標	①②-1 農作物の被害の減少 ①②-2 アライグマの捕獲
R2実績値	①②-1 計画を更新し、令和3年度～令和5年度で事業を実施。出丸地区において、ニホンジカによる農業被害が発生しているため、ニホンジカを対象として追加。 ①②-2 291頭
R3目標値	数値目標になじまない
最終目標値(終期)	①②-1 被害金額 ハクビシン37千円、アライグマ832千円、タヌキ288千円、ニホンジカ63千円 被害面積 ハクビシン0.01ha、アライグマ0.19ha、タヌキ0.01ha、ニホンジカ0.06ha ①②-2 全頭
進捗状況(%) R2実績値／R3目標値	①、②とも数値目標になじまない
課題	①②-2 埼玉県全体でアライグマが増加傾向にあり、町単独での対応は難しくなってきていたため、計画に基づき、各関連機関と連携をし、対応を行っていく必要がある。ニホンジカについても、出丸地区の堤外において、目撃情報が増えているため、令和2年度に捕獲のための罠を設置。ぐり罠にて子鹿1頭を捕獲した。農業被害の拡大を防ぐために、引き続き、対応を行う必要がある。
実施・進捗状況評価	○：概ね実施・進行している。
目標達成度評価	○：概ね達成した（目標に対して80%以上100%以下を達成）
担当課	農政産業課

施策取組状況確認シート	
基本方針	1 自然環境の保全
対象分野	3 動植物、生態系
環境保全の目標	本来の生態系を回復し、貴重な生態系を未来に伝える。
行政の施策	① 生物生息空間の確保 ② 外来生物対策の推進
取組事業名	① ハンノキプロジェクト(つばさ南小学校) ② 「荒川の草花を育てようプロジェクト」(つばさ北小学校)
計画期間	①-1 荒川で減少しているハンノキ林とハンノキに依存する生き物の保存計画(国土交通省との連携事業により毎年度実施) ①-2 「三ツ又沼ビオトープ」の環境保全(国土交通省との連携事業により毎年度実施) ②-1 荒川に生息する草花を育てるため、荒川の草花の苗を育て、種の収穫を通じて環境について学ぶ。 ②-2 「国土交通省との連携事業により、令和元年(平成31年度)より実施
成果指標	①-1、①-2、②-1、②-2とも毎年度、国土交通省との連携事業として実施しており、総合学習の一環として実施しているため目標設定になじまない。
R2実績値	国土交通省との連携事業として実施しており、総合学習の一環として実施
R3目標値	①-1、①-2、②-1、②-2 具体的な目標値については、数値での表現に適さないため非表示
最終目標値(終期)	①-1、①-2、②-1、②-2 具体的な目標値については、数値での表現に適さないため非表示
進捗状況(%) R2実績値／R3目標値	①-1、①-2、②-1、②-2 数値での表現に適さないため非表示
課題	①-1、①-2 ハンノキプロジェクトは、国や県の支援により支えられている。川島町にある三ツ又沼ビオトープで、ハンノキプロジェクトを実施していることについて、広報活動を積極的に行うことで、地元の多くの皆様にこのような活動が長く行われていることに関心を持っていたことが課題である。②-1、②-2 「荒川の草花を育てようプロジェクト」についても、国の支援に支えられている。現地まで行く道路が狭いため交通手段等が課題である。
実施・進捗状況評価	—:評価に馴染まない(数値目標に馴染まない等)
目標達成度評価	—:評価に馴染まない(数値目標に馴染まない等)
担当課	教育総務課(学校教育グループ・つばさ南小学校・つばさ北小学校)

施策取組状況確認シート	
基本方針	1. 自然環境の保全
対象分野	4. 自然とのふれあい
環境保全の目標	自然とのふれあいの推進により、自然環境保全に向けた意識を高める。
行政の施策	① 自然とふれあえる場の整備 ② 自然とふれあう機会の充実
取組事業名	①② 荒川太郎右衛門地区自然再生協議会による各種事業
計画期間	①② 毎年度実施
成果指標	①、②とも数値目標になじまない
R2実績値	① 維持管理作業(植生管理) ② 各種事業の実施 散策イベント(4、5、6、9、10、1月)中止 つばさ北小学校 環境学習(6、2月) かわじま輪中の郷ウォーキングでの事業PR(4月)中止 農業商工祭での桶川西高校水槽展示(11月)中止
R3目標値	維持管理作業、各種事業の実施、事業のPR
最終目標値(終期)	維持管理作業、各種事業の実施、事業のPR
進捗状況(%) R2実績値／R3目標値	①② 100%
課題	① 河川敷きのため台風等により冠水する。管理費、修繕費。 ② イベント参加者が少ない。今後はSNSを活用した広報(県や、地元企業、学校などの研修の場としても活用してもらえるようメリットを意識)を実施。
実施・進捗状況評価	○:概ね実施・進行している。
目標達成度評価	—:評価に馴染まない(数値目標に馴染まない等)
担当課	農政産業課

施策取組状況確認シート	
基本方針	1 自然環境の保全
対象分野	4 自然とのふれあい
環境保全の目標	自然とのふれあいの推進により、自然環境保全に向けた意識を高める。
行政の施策	①自然とふれあえる場の整備 ②自然とふれあう機会の充実
取組事業名	①地域子ども教室(各地区6箇所で実施) ②自然体験教室
計画期間	①平成18年度から実施中 ②平成26年度から実施中
成果指標	①各地区的体験活動における環境学習の導入件数 ②体験活動の参加者数
R2実績値	①新型コロナウイルス感染症の影響により、全教室が中止となった。 ②新型コロナウイルス感染症の影響により、講座を実施することができなかった。
R3目標値	①「環境学習」を主題とした活動を実施する。 実施例:「米ぶくろで作るエコパック」(中山つ子くらぶ)、「魚釣り」(三保谷、ハツ保、小見野つ子くらぶ)、「川のふしきを知ろう!~川の博物館見学~」(ハツ保つ子くらぶ) ②荒川太郎右衛門地区自然再生協議会等、荒川流域の自然保護活動を行っている団体や、町内の企業等と連携し、「環境学習」を主題とした講座を実施する。講座参加者数20名を目標とする。
最終目標値(終期)	①各教室において「環境学習」を主題とした活動を年間1回程度実施する。 ②講座参加者数20名を目標とする。
進捗状況(%) R2実績値/R3目標値	①0%/100%(実績0教室、目標4教室) ②0%/100%(実績0人、目標20人)
課題	①実施年に応じて、魚釣りや稲刈り、野菜収穫、芋ほりといった活動を通して、環境について学んでいるものの、環境を主題とした活動数が少ない。今後、増やしていくとともに、既存の活動の中で環境問題にふれることができるよう構成を工夫したい。 ②天候に左右されるため、実施が安定しない。また、自然環境の保全という趣旨だけでは参加者の興味・関心を得ることが難しく、娛樂的な要素を組み合わせる等の工夫が必要である。
実施・進捗状況評価	—:評価に馴染まない(数値目標に馴染まない等)
目標達成度評価	○:概ね達成した(目標に対して80%以上100%未満を達成)
担当課	生涯学習課

施策取組状況確認シート	
基本方針	2 生活環境の保全
対象分野	1 大気環境
環境保全の目標	大気質の監視を継続し、大気汚染の未然防止に努める。
行政の施策	① 大気環境への負荷の軽減 ② 大気環境の監視と保全意識の高揚
取組事業名	①-1 町環境保全条例に基づくアイドリングストップの推進 ①-2 東松山環境管理事務所との事業者への立入検査の実施 ②ダイオキシン測定
計画期間	① 随時 ② 令和2年4月28日から令和3年2月19日まで (契約額: 1,342,000円)
成果指標	① 駐車場関連の苦情件数 ② 全国的大課題であり、一自治体の努力では難しい。また、気象条件に左右されやすく、安定した数値を確保することが難しいため、目標設定にはなじまない。
R2実績値	①-1 苦情は0件。条例に基づき指導する。主に、開発事前協議において、駐車場(20台以上収容または面積が500m ² 以上)設置が予定されている場合に、アイドリングストップ看板設置の義務付けを周知。 ①-2 特定施設の届出がある施設の中で、近年、通報や問題が発生した箇所を、東松山環境管理事務所と事業者への立入検査を実施している。例年15か所程度実施。ただし、令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、同行立入は見直しし、環境管理事務所のみでの立入が主となった。 ② 町内2箇所で、年2回調査。
R3目標値	① 駐車場関連の苦情件数 0件 ② 目標設定にはなじまない。
最終目標値(終期)	① 駐車場関連の苦情件数 0件 ② 目標設定にはなじまない。
進捗状況(%) R2実績値／R3目標値	①100% (R2実績値0件／R3目標値0件)
課題	・冷凍車等が必要な荷物の積み降ろしをする施設(冷凍食品等を扱う事業所、配送センターなど)の設置者は、アイドリング抑制のために外部電源設備を設置するよう努めなくてはならないが、費用面から思うように進まない現状あり。
実施・進捗状況評価	○:概ね実施・進行している。
目標達成度評価	—:評価に馴染まない(数値目標に馴染まない等)
担当課	市民生活課(生活環境グループ)

施策取組状況確認シート	
基本方針	2 生活環境の保全
対象分野	1 大気環境
環境保全の目標	大気質の監視を継続し、大気汚染の未然防止に努める。
行政の施策	①大気環境への負荷の軽減(ごみの野焼き禁止) ②大気環境の監視と保全意識の高揚
取組事業名	①農地パトロール
計画期間	①令和2年4月1日～令和8年3月31日 年1回実施
成果指標	①年間で3回程度、地域の農業委員、農地利用最適化推進委員が主体となり、野焼きなどがないか独自にパトロールを行う。遊休農地や耕作放棄地になると、野焼き等の元凶となる可能性が高くなるため、遊休農地、耕作放棄地の解消に努める。 野焼き通報件数:0件
R2実績値	①農地パトロールを農業委員会全体で、年1回実施した。 野焼き通報件数:0件
R3目標値	①農地パトロールを農業委員会全体で、年1回実施 野焼き通報件数:0件
最終目標値(終期)	①農地パトロールを農業委員会全体で、年1回実施 野焼き通報件数:0件
進捗状況(%) R2実績値／R3目標値	農地パトロール100%、野焼き通報件数100%
課題	野焼きについては、基本的に禁止されていることを知らない方も多く、広報紙や農業委員会だより等で周知しているが、通報等はないものの、年間で数件は発生している状況である。
実施・進捗状況評価	○:概ね実施・進行している。
目標達成度評価	○:概ね達成した(目標に対して80%以上100%以下を達成)
担当課	農業委員会事務局

施策取組状況確認シート	
基本方針	2生活環境の保全
対象分野	2水環境
環境保全の目標	四方を河川に囲まれた美しい水辺環境を守るために、生活排水の適正処理と水質の監視により、より良い水環境を創出する。
行政の施策	① 適正な排水対策の推進 ② 水質の監視と保全意識の高揚
取組事業名	①-1 小型合併処理浄化槽設置整備補助金 ①-2 小型合併処理浄化槽維持管理補助金 ②-1 比企河川合同水質調査 ②-2 東松山環境管理事務所との事業者への立入検査の実施
計画期間	①-1 毎年度1月末まで受付 ①-2 毎年度末まで受付 ②-1 毎年度実施 ②-2 特定施設の届出がある施設の中で、近年、通報や問題が発生した箇所を、東松山環境管理事務所との事業者への立入検査の実施箇所としている。
成果指標	①-1 小型合併処理浄化槽設置補助件数(転換部分) ①-2 小型合併処理浄化槽定期検査受検率 ②-1 一つの自治体の取組みだけでは達成が難しく目標設定になじまない。 ②-2 隨時対応しており目標設定になじまない。
R2実績値	①-1 平成28年度から県・町等の補助金を増額しており、広報紙やHP等により住民に周知を行って単独槽等からの転換を進めている。転換11件。 ①-2 42.7% ※R2年度分数値については未確定のため、R元年分数値を記載。 ②-1 年4回、7地点を測量 ②-2 隨時実施
R3目標値	①-1 転換12件 ①-2 43.0%
最終目標値(終期)	①-1 転換年間12件 ①-2 43.0% (R3年度末)
進捗状況(%) R2実績値／R3目標値	①-1 91.7%(R2実績11件／R3目標12件) ①-2 99.3%(R2実績42.7%／R3目標43.0%)
課題	①-1 将来的に、実際に転換が可能な補助対象世帯数を精査し、把握することが必要。 ②-1 上流の自治体の取組みに影響され、一つの自治体の努力では難しい。また、天候や水量により数値にかなりばらつきがある。
実施・進捗状況評価	○:概ね実施・進行している。
目標達成度評価	○:概ね達成した(目標に対して80%以上100%以下を達成)
担当課	市民生活課(生活環境グループ)

施策取組状況確認シート	
基本方針	2生活環境の保全
対象分野	2水環境
環境保全の目標	四方を河川に囲まれた輪中の郷として、生活排水の適正処理と水質の監視により、より良い水環境を創出する。
行政の施策	① 適正な排水対策の推進 ② 水質の監視と保全意識の高揚
取組事業名	① 雨水排水処理の指導
計画期間	① 通年(隨時実施)
成果指標	① 開発等相談時における雨水排水処理基準の指導率
R2実績値	① 100%
R3目標値	① 100%
最終目標値(終期)	① 100%
進捗状況(%) R2実績値／R3目標値	① 100%
課題	①市街化区域内の一定規模以下の開発行為で、開発事前相談がない場合には、雨水排水処理基準についての行政指導が行えないケースが生じている。
実施・進捗状況評価	◎:順調に実施・進行している。
目標達成度評価	○:概ね達成した(目標に対して80%以上100%以下を達成)
担当課	まち整備課都市計画G

施策取組状況確認シート

基本方針	2 生活環境の保全
対象分野	2 水環境
環境保全の目標	四方を河川に囲まれた美しい水辺環境を守るために、生活排水の適正処理と水質の監視により、より良い水環境を創出する。
行政の施策	①適切な排水対策の推進 ②水質の監視と保全意識の高揚
取組事業名	①下水道未接続世帯への下水道接続推進
計画期間	①随時
成果指標	①下水道処理区域内の世帯数のうち、水洗化とした世帯の割合
R2実績値	①下水道接続率 97.9%
R3目標値	①下水道接続率 98.5%
最終目標値(終期)	①100%
進捗状況(%) R2実績値／R3目標値	①97.9%/98.5% = 99%
課題	接続の意義については理解してもらえるが、高齢者世帯や経済的な理由により接続ができない世帯があり、接続に至っていない。 R2未接続世帯へ戸別訪問を実施し、接続依頼をした。
実施・進捗状況評価	○：概ね実施・進行している。
目標達成度評価	—：評価に馴染まない(数値目標に馴染まない等)
担当課	上下水道課(下水道グループ)

施策取組状況確認シート	
基本方針	2 生活環境の保全
対象分野	3 騒音・振動
環境保全の目標	騒音公害等の少ない、静かで落ち着いた環境を守る。
行政の施策	① 騒音・振動対策の推進 ② 公害苦情の適正処理
取組事業名	① 法や県条例に基づく指導や、苦情対応 ② 水質汚濁や悪臭等への苦情対応
計画期間	①、② 随時対応
成果指標	①、② 随時対応しており目標設定になじまない。
R2実績値	① 苦情件数 5件 ② 苦情件数 6件
R3目標値	①、② 随時対応しており目標設定になじまない。
最終目標値(終期)	①、② 随時対応しており目標設定になじまない。
進捗状況(%) R2実績値／R3目標値	①、② 随時対応しており目標設定になじまない。
課題	①、② 苦情は事情もさまざまであり、経験則が通用しない場合もあり、毎回慎重な対応が求められる。
実施・進捗状況評価	—:評価に馴染まない(数値目標に馴染まない等)
目標達成度評価	—:評価に馴染まない(数値目標に馴染まない等)
担当課	市民生活課(生活環境グループ)

施策取組状況確認シート

基本方針	2 生活環境の保全																																																																																														
対象分野	4 その他公害防止																																																																																														
環境保全の目標	1 大気質の監視を継続し、大気汚染の未然防止に努めます。																																																																																														
行政の施策	②大気環境の監視と保全意識の高揚																																																																																														
取組事業名	①施設から排出されるばいじん及び焼却灰、排ガス等環境調査 1)ばい煙測定 2)ごみ組成分析 3)燃え殻調査 4)飛灰調査 ②放射性物質測定検査																																																																																														
計画期間	①及び②共通：焼却施設が稼動を停止するまで毎年実施																																																																																														
成果指標	①②共通で、国が定める基準値を超えないように運転管理をしていく。																																																																																														
R2実績値	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <caption>表 2-2 ばい煙測定結果総括表</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">期日</th> <th colspan="4">令和2年</th> <th colspan="2">令和3年</th> <th rowspan="2">規制値 (上乗せ)</th> <th rowspan="2">指導基準</th> </tr> <tr> <th>6月5日 (1号炉)</th> <th>8月27日 (2号炉)</th> <th>11月12日 (1号炉)</th> <th>2月4日 (2号炉)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ばいじん濃度 g/m³</td> <td>実測値 ppm</td> <td>0.0021 2.4</td> <td><0.0025 <0.5</td> <td>0.0025 <0.5</td> <td><0.0025 <0.5</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>全硫黄化合物濃度 ppm</td> <td>実測値 換算値(12%)</td> <td>0.0076 0.093</td> <td><0.0071 <0.025</td> <td><0.0049 <0.017</td> <td><0.0050 <0.024</td> <td>0.15 73.23</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>窒素酸化物濃度 ppm</td> <td>実測値 換算値(12%)</td> <td>35 87</td> <td>31 120</td> <td>77 140</td> <td>37 65</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>塩化水素濃度 mg/m³</td> <td>実測値 換算値(12%)</td> <td>5.1 13</td> <td><5.0 <13</td> <td><5.0 <11</td> <td><5.0 <9.3</td> <td>7.00 (200) 50</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>全水銀濃度 μg/m³</td> <td>実測値 換算値(12%)</td> <td>0.40 47.200</td> <td>6.2 61,000</td> <td><0.21 41,200</td> <td><0.40 78,700</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>排出ガス量 m³/h</td> <td>理论 実き</td> <td>39,300</td> <td>51,000</td> <td>34,100</td> <td>69,000</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>排出ガス温度 ℃</td> <td></td> <td>153</td> <td>158</td> <td>148</td> <td>157</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>排出ガス流速 m/s</td> <td></td> <td>7.27</td> <td>9.45</td> <td>6.25</td> <td>12.15</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>水分量 %</td> <td></td> <td>16.7</td> <td>16.5</td> <td>17.1</td> <td>12.3</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>酸素濃度 %</td> <td></td> <td>17.5</td> <td>17.8</td> <td>16.8</td> <td>16.1</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	項目	期日	令和2年				令和3年		規制値 (上乗せ)	指導基準	6月5日 (1号炉)	8月27日 (2号炉)	11月12日 (1号炉)	2月4日 (2号炉)	ばいじん濃度 g/m ³	実測値 ppm	0.0021 2.4	<0.0025 <0.5	0.0025 <0.5	<0.0025 <0.5	-	-	全硫黄化合物濃度 ppm	実測値 換算値(12%)	0.0076 0.093	<0.0071 <0.025	<0.0049 <0.017	<0.0050 <0.024	0.15 73.23	-	窒素酸化物濃度 ppm	実測値 換算値(12%)	35 87	31 120	77 140	37 65	-	-	塩化水素濃度 mg/m ³	実測値 換算値(12%)	5.1 13	<5.0 <13	<5.0 <11	<5.0 <9.3	7.00 (200) 50	-	全水銀濃度 μg/m ³	実測値 換算値(12%)	0.40 47.200	6.2 61,000	<0.21 41,200	<0.40 78,700	-	-	排出ガス量 m ³ /h	理论 実き	39,300	51,000	34,100	69,000	-	-	排出ガス温度 ℃		153	158	148	157	-	-	排出ガス流速 m/s		7.27	9.45	6.25	12.15	-	-	水分量 %		16.7	16.5	17.1	12.3	-	-	酸素濃度 %		17.5	17.8	16.8	16.1	-	-
項目	期日			令和2年				令和3年				規制値 (上乗せ)	指導基準																																																																																		
		6月5日 (1号炉)	8月27日 (2号炉)	11月12日 (1号炉)	2月4日 (2号炉)																																																																																										
ばいじん濃度 g/m ³	実測値 ppm	0.0021 2.4	<0.0025 <0.5	0.0025 <0.5	<0.0025 <0.5	-	-																																																																																								
全硫黄化合物濃度 ppm	実測値 換算値(12%)	0.0076 0.093	<0.0071 <0.025	<0.0049 <0.017	<0.0050 <0.024	0.15 73.23	-																																																																																								
窒素酸化物濃度 ppm	実測値 換算値(12%)	35 87	31 120	77 140	37 65	-	-																																																																																								
塩化水素濃度 mg/m ³	実測値 換算値(12%)	5.1 13	<5.0 <13	<5.0 <11	<5.0 <9.3	7.00 (200) 50	-																																																																																								
全水銀濃度 μg/m ³	実測値 換算値(12%)	0.40 47.200	6.2 61,000	<0.21 41,200	<0.40 78,700	-	-																																																																																								
排出ガス量 m ³ /h	理论 実き	39,300	51,000	34,100	69,000	-	-																																																																																								
排出ガス温度 ℃		153	158	148	157	-	-																																																																																								
排出ガス流速 m/s		7.27	9.45	6.25	12.15	-	-																																																																																								
水分量 %		16.7	16.5	17.1	12.3	-	-																																																																																								
酸素濃度 %		17.5	17.8	16.8	16.1	-	-																																																																																								
R3目標値	各項目の規制値未満の数値																																																																																														
最終目標値(終期)	焼却施設の停止まで、各項目の規制値未満の数値																																																																																														
進捗状況(%) R2実績値／R3目標値	100%（予定した検査回数、測定値は基準未満）																																																																																														
課題	施設の経年劣化により、排ガス規制機能などの能力が低下してきていくことから、施設のメンテナンスが重要となる。																																																																																														
実施・進捗状況評価	◎：順調に実施・進行している。																																																																																														
目標達成度評価	○：概ね達成した（目標に対して80%以上100%以下を達成）																																																																																														
担当課	町民生活課（ゼロ・ウェイスト推進室）																																																																																														

施策取組状況確認シート	
基本方針	3快適環境の保全
対象分野	1公園・緑地
環境保全の目標	公園・緑地の適正管理や景観の創出により、好適な地域環境を形成する。
行政の施策	① 公園・緑地の適正な整備と維持・管理 ② 良好的な景観の形成・創出
取組事業名	①-1 公園、緑地の適正な維持管理 ①-2 鳥羽井沼周辺公園化事業の推進(整備) ② 違反屋外広告物の監視強化
計画期間	①-1 通年(隨時実施) ①-2 令和7年度末(公園整備完了予定) ② 通年(隨時実施)
成果指標	①-1 定期的な改修修繕等の実施や、大規模な整備については計画的に実施し、緊急性の高いものについては早急な対応を実施。 ①-2 鳥羽井沼周辺の公園化 ② 定期的に禁止地域をパトロールし、違反指導を実施。
R2実績値	①-1 目標設定になじまない ①-2 鳥羽井沼周辺公園化事業に向けた用地の取得(寄附)、所有権移転登記を行った。 ② 改善率23%
R3目標値	①-1 目標設定になじまない ①-2 公園化に向けての整備、管理、活用方法の検討。 ② 改善率50%
最終目標値(終期)	①-1 目標設定になじまない ①-2 令和7年度末(公園整備完了予定) ② 改善率65%
進捗状況(%) R2実績値／R3目標値	①-1 目標設定になじまない ①-2 目標設定になじまない ② 50%
課題	①-1 老朽化による、施設の修繕や交換工事等が非常に多くなってきた。 ①-2 公園化に向けた基本設計が未実施であり、事業の停滞が懸念される。 ② すべての違法看板を把握するのが困難であること
実施・進捗状況評価	○:概ね実施・進行している。
目標達成度評価	○:概ね達成した(目標に対して80%以上100%以下を達成)
担当課	まち整備課都市計画G

施策取組状況確認シート	
基本方針	3 快適環境の保全
対象分野	2 歴史・文化
環境保全の目標	地域の特徴や個性を活かしながら、後世に残すよう努める。
行政の施策	文化財の保護
取組事業名	①文化財の保存事業 ②文化財の調査事業 ③文化財に対する意識向上事業
計画期間	継続的に実施する。
成果指標	①文化財の保存・活用に関する事業を実施する。 ②町内の埋蔵文化財包蔵地における土木工事等の開発行為に対し、埋蔵文化財の有無を確認するため、試掘調査を実施する。 ③郷土の歴史・人物・自然環境などに関する講座を実施する。
R2実績値	①国指定重要文化財広徳寺大御堂の防災設備保守点検事業に補助金を交付した。 ②町内の埋蔵文化財包蔵地における土木工事等の開発行為に対して、埋蔵文化財の有無を確認するため、1件(柳町遺跡)の試掘調査を実施した。 ③ふるさと歴史講座～川から深く学ぶ川島町～を開催し、76名が参加した。参加者は、水害・治水の歴史を学ぶとともに、フィールドワークにより、町内の水に係る遺構や自然地形などを現地に赴いて見学した。
R3目標値	①年2回の防災設備の点検を実施する。 ②包蔵地に係る埋蔵文化財について、開発予定地が該当する場合は、試掘を実施する。 ③川島町の水(水害・治水)に関する講座を実施する。
最終目標値(終期)	①郷土の歴史・人物・自然環境などに関する講座を年間1回程度実施する。 ②参加者数20名。
進捗状況(%) R2実績値／R3目標値	① 100%／100%(R2実績1件／R3目標1件) ② 100%／100%(R2実績1件／R3目標1件) ③ 100%／100%(R2実績1件／R3目標1件)
課題	歴史・自然・地理など、川島町の環境に係るの特徴を知ることのできる講座を継続的に実施し、参加者の興味・関心を得るために工夫が必要である。
実施・進捗状況評価	◎:順調に実施・進行している。
目標達成度評価	○:概ね達成した(目標に対して80%以上100%以下を達成)
担当課	生涯学習課(生涯学習グループ)

施策取組状況確認シート	
基本方針	③ 快適環境の保全
対象分野	③ 廃棄物・リサイクル
環境保全の目標	適正なごみ処理事業を継続し、環境への負荷の軽減に努める。
行政の施策	① ごみの減量化の推進 ② リサイクルと適正処理の推進
取組事業名	② 集団資源回収事業報奨金交付
計画期間	② 年間を通じて実施
成果指標	② 回収量・交付金
R2実績値	② 各団体が実施した資源回収量に対して、川島町集団資源回収事業報奨金交付要綱に基づき報奨金を交付 R2年度 数量 178,145kg 交付金 534,435円
R3目標値	② 数量 400,000kg 交付金 1,200,000円
最終目標値(終期)	目標設定になじまない。
進捗状況(%) R2実績値／R3目標値	② 44.5% (R2実績値 178,145kg / R3目標値 400,000kg)
課題	② 平成28年度に、年2回以上の実施が補助要件となっていたが、構成メンバーの減少もあり、年1回以上の実施という要件に改正。今後の推移を見守りたい。なお、令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、実施しない団体が多く、回収量は大幅減となっている。
実施・進捗状況評価	△: やや取組が遅れている
目標達成度評価	△: 目標を下回った(目標に対し80%未満)
担当課	町民生活課(生活環境グループ)

施策取組状況確認シート	
基本方針	3 快適環境の保全
対象分野	3 廃棄物・リサイクル
環境保全の目標	適正なごみ処理事業を継続し、環境への負荷の削減に努めます。
行政の施策	<p>① ごみの減量化の推進 ② リサイクルと適正処理の推進</p>
取組事業名	<p>① 家庭からのごみの減量化 -1 マイバッグ持参運動の推進 -2 小・中学生を対象としたごみ処理施設見学や体験学習の継続</p> <p>② 事業所からのごみの減量化 -1 事業者に対する情報提供や啓発活動の継続 -2 事業系ごみ運搬業者への指導・啓発</p> <p>③ ごみ処理施設の維持管理事業 -1 役場の紙ごみの再資源化 -2 ごみの適正処理(施設の適正管理、定期的な維持補修)</p>
計画期間	<p>① 家庭からのごみの減量化 -1 マイバッグ持参運動の推進 -2 小・中学生を対象としたごみ処理施設見学や体験学習の継続</p> <p>② 事業所からのごみの減量化 -1 事業者に対する情報提供や啓発活動の継続 -2 事業系ごみ運搬業者への指導・啓発</p> <p>③ ごみ処理施設の維持管理事業 -1 役場の紙ごみの再資源化 -2 ごみの適正処理(施設の適正管理、定期的な維持補修)</p>
成果指標	<p>① 積極的なPR及び事業の取組み。 ② 老朽化が進行する施設を、修繕箇所の優先順位を見極め必要最小限の経費で施設を延命化する。</p>
R2実績値	<p>①-1 レジ袋の有料化に合わせ、広報かわじまで周知 -2 つばさ北小が社会科見学で来所</p> <p>②-1 10月から11月にかけ、町内事業所の立入確認を行った。 -2 10月から11月にかけ、運搬業者に対し展開検査を実施。</p> <p>③-1 機密文書の溶解処理を実施(7月と3月) -2 R2塵芥処理費 30,941千円</p>
R3目標値	<p>① 家庭からのごみの減量化 -1 マイバッグ持参運動の推進 -2 小・中学生を対象としたごみ処理施設見学や体験学習の継続</p> <p>② 事業所からのごみの減量化 -1 事業者に対する情報提供や啓発活動の継続 -2 事業系ごみ運搬業者への指導・啓発</p> <p>③ ごみ処理施設の維持管理事業 -1 役場の紙ごみの再資源化 -2 ごみの適正処理(施設の適正管理、定期的な維持補修)</p>
最終目標値(終期)	<p>① 家庭からのごみの減量化 -1 マイバッグ持参運動の推進 -2 小・中学生を対象としたごみ処理施設見学や体験学習の継続</p> <p>② 事業所からのごみの減量化 -1 事業者に対する情報提供や啓発活動の継続 -2 事業系ごみ運搬業者への指導・啓発</p> <p>③ ごみ処理施設の維持管理事業 -1 役場の紙ごみの再資源化 -2 ごみの適正処理(施設の適正管理、定期的な維持補修)</p>
進捗状況(%) R2実績値/R3目標値	<p>① 現状で取組可能な事業は実施済(新型コロナウイルス感染症の影響あり) ② 目標設定は困難。</p>
課題	① ごみ処理問題に興味関心が薄く、ごみの分別意識が浸透していない町民への周知方法。
実施・進捗状況評価	—:評価に馴染まない(数値目標に馴染まない等)
目標達成度評価	—:評価に馴染まない(数値目標に馴染まない等)
担当課	町民生活課(ゼロ・ウェイスト推進室)

施策取組状況確認シート	
基本方針	3 快適環境の保全
対象分野	4 環境美化、不法投棄対策
環境保全の目標	ごみの散乱や不法投棄のない清潔な地域環境の創出に努める。
行政の施策	① 美化活動の推進。 ② 不法投棄対策の充実・強化。
取組事業名	①-1 美化運動の実施 ②-1 シルバー人材センターによる町内巡回パトロール ②-2 空き地の雑草等の管理 ②-3 東松山環境管理事務所との不法投棄パトロール
計画期間	①-1 年3回 ②-1 月間計画表に基づき実施 ②-2 隨時 ②-3 年1回
成果指標	①、②とも成果目標になじまない。
R2実績値	①-1 年3回の地域の美化運動は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となった。また荒川クリーン作戦については、規模を縮小して実施。 ②-1 町内を巡回パトロールしていただき、不法投棄ごみを発見しだい回収。毎月10日程度実施(実施日数120日/総回収量5,700kg) ②-2 通報や発見がありしだい草刈を手配 ②-3 東松山環境管理事務所と合同でパトロール。
R3目標値	目標設定になじまない。
最終目標値(終期)	目標設定になじまない。
進捗状況(%) R2実績値／R3目標値	目標設定になじまない。
課題	空き地などの指導については、ほとんどの地権者が対応してくれているが、町外の一部の地権者の中には対応が遅れがちな面も見られる。また、現在の地権者が不明で、対応に苦慮する場合もある。不法投棄については、継続的に発生しており、啓発看板の設置等で抑止を図る、また、堤外については、関係機関と連携し、投棄しにくい環境づくりを進めていく必要があり。
実施・進捗状況評価	一：評価に馴染まない(数値目標に馴染まない等)
目標達成度評価	一：評価に馴染まない(数値目標に馴染まない等)
担当課	市民生活課(生活環境グループ)

施策取組状況確認シート

基本方針	4 環境保全活動の推進
対象分野	1 地球温暖化防止
環境保全の目標	地球温暖化防止に向けて、日常生活や事業活動を見直す。
行政の施策	① 町の事務事業からの温室効果ガスの排出削減
取組事業名	①-1 エコアップ推進活動 ①-2 庁舎の太陽光発電設備の導入
計画期間	①-1 毎年度、5月1日から10月31日まで、クールビズを実施 冬場の空調設備の温度設定を、原則一律22°Cに設定 ①-2 庁舎屋上に太陽光発電設備20kW、蓄電池15kWを設置
成果指標	①-1 随時実施しているものであり、目標設定になじまない ①-2 工事の完了
R2実績値	①-1 随時実施 ①-2 平成27年11月末より稼働中
R3目標値	①-2 100%
最終目標値(終期)	①-2 100%
進捗状況(%) R2実績値／R3目標値	①-2 100%／100%
課題	①-1 空調設備の一率温度管理は、部署ごとに寒暖差があるので、 状況把握しながら進めていく必要がある ①-2 太陽光発電設備の導入状況を更に周知し、環境教育等の啓 発活動に結び付けていきたい
実施・進捗状況評価	◎：順調に実施・進行している。
目標達成度評価	○：概ね達成した（目標に対して80%以上100%以下を達成）
担当課	政策推進課（管財・契約グループ）

施策取組状況確認シート	
基本方針	4 環境保全活動の推進
対象分野	1 地球温暖化防止
環境保全の目標	地球温暖化防止に向けて、日常の生活や事業活動を見直す。
行政の施策	①町の事務事業からの温室効果ガスの排出削減 ②町民や事業者の意識向上
取組事業名	①地球温暖化対策実行計画の推進
計画期間	①令和5年度
成果指標	①温室効果ガス(CO ₂)のH28比 5%削減
R2実績値	①温室効果ガス(CO ₂)174tの削減
R3目標値	①単年度単位での明確な目標値はないが、単年度ごとに状況把握を行う。
最終目標値(終期)	①令和5年までに基準年(平成28年度)比5%(137t)以上CO ₂ を削減。
進捗状況(%) R2実績値／R3目標値	①127%(R2実績値174t／R3目標値 137t)
課題	川島町地球温暖化対策実行計画(事務・事業編)の進捗管理を行い、目標達成に向けた取組をしっかりと推進していかなくてはならない。なお、温室効果ガス(CO ₂)の算定には「排出係数」があり、電気については、係数が減少傾向のため、温室効果ガス(CO ₂)は減少傾向となるが、使用量についても、しっかりと削減する取組を進めていく。
実施・進捗状況評価	◎:順調に実施・進行している。
目標達成度評価	◎:目標以上に達成した(101%以上を達成)
担当課	町民生活課(生活環境グループ)

施策取組状況確認シート	
基本方針	4 環境保全活動の推進
対象分野	1 地球温暖化防止
環境保全の目標	地球温暖化に防止に向けて、日常の生活や事業活動を見直す。
行政の施策	① 温室効果ガスの排出削減 ② 町民や事業者の意識向上
取組事業名	温室効果ガスの排出削減事業(学校への太陽光発電設備等の導入事業)
計画期間	①毎年度実施(川島中学校については、2023年度以降) ※川島中学校については、現行の屋上については、建物構造上設置できない。
成果指標	①小中学校への太陽光発電設備及び蓄電池設置
R2実績値	①87.5%(新規設置なしの現状どおり)
R3目標値	①87.5%(現状値) ※平成30年3月31日をもって、閉校となった2校を除くと83.3%(6校中5校設置済み)
最終目標値(終期)	②100%(2023年度以降)
進捗状況(%) R2実績値／R3目標値	87.5%(8校中、川島中学校を除く7校に設置済み)(平成29年度末) 83.3%(閉校となった2校を除く6校中、川島中学校を除く5校に設置済み)(平成30年度～)
課題	新規設置については、国庫補助金や県補助金を活用したが、今後の更新等については、全額町予算で対応する必要があり財政的な負担が大きい。また、廃校となった2校に設置してある設備については、跡地の活用次第によっては、処分等を行う必要もある。
実施・進捗状況評価	—:評価に馴染まない(数値目標に馴染まない等)
目標達成度評価	—:評価に馴染まない(数値目標に馴染まない等)
担当課	教育総務課(学校教育グループ)

施策取組状況確認シート	
基本方針	4 環境保全活動の推進
対象分野	2 省エネ・省資源
環境保全の目標	適切な支援施策により、家庭や事業所での効果的な省エネを推進する。
行政の施策	①省エネ・省資源の取り組み、省エネ機器の普及の推進 ②自動車利用に際しての省エネの推進
取組事業名	①-1 庁舎等公共施設への再生可能エネルギーの導入 ①-2 低燃費・低公害車の導入 ②-1 エコドライブの実施 ②-2 地域公共交通の導入
計画期間	①-1 庁舎設備に、中水設備、地中熱利用設備及び高効率空調・照明器具(LED)を導入。 ①-2 公用車の更新時、PHEV車やハイブリッド車等を導入。 ②-1 随時実施。 ②-2 毎月、デマンドタクシーの利用状況を収集し、地域の実情に合った公共交通の導入を検討。
成果指標	①-1 工事の完了。 ①-2 全公用車におけるPHEV車、ハイブリッド車等の割合。 ②-1 安全運転講習等により繰り返し教育していくものであり、目標設定になじまない。 ②-2 地域の実情に合わせ、その都度見直していくものであり、目標設定になじまない。
R2実績値	①-1 平成27年11月末より稼働中。 ①-2 公用車45台中5台をハイブリッド車に更新済み。 (全体の11.1% トヨタプリウス2台、ホンダフィット1台、ニッサンセレナ1台、トヨタカムリ1台)
R3目標値	①-1 100% ①-2 11.1%
最終目標値(終期)	①-1 100% ①-2 13.3%(6台)※令和4年度末
進捗状況(%) R2実績値/R3目標値	①-1 100% ①-2 100%
課題	①-1 導入状況を更に周知し、環境教育等の啓発活動に結び付けていきたい。 ①-2 予算の制約もあるため、PHEV等の導入は限定して軽自動車の導入と併せて実施していく必要がある。 ②-1 特に運転技術が未熟なものへの教育を重点的に実施していく必要がある。 ②-2 費用対効果や民間バス事業者等とのバランスを踏まえ、適切かつ持続可能な交通弱者支援策を実施する必要がある。
実施・進捗状況評価	○:概ね実施・進行している。
目標達成度評価	○:概ね達成した(目標に対して80%以上100%以下を達成)
担当課	政策推進課(管財・契約グループ)

施策取組状況確認シート	
基本方針	4 環境保全活動の推進
対象分野	2 省エネ・省資源
環境保全の目標	適切な支援施策により、家庭や事業所での効果的な省エネを推進する。
行政の施策	① 省エネ・省資源の取り組み、省エネ機器の普及の推進 ② 自動車利用に際しての省エネの推進
取組事業名	①-1 エコライフDAYの実施 ①-2 クールビズ、ウォームビズの実施 ①-3 クールシェアの実施
計画期間	①-1 夏休み前、冬休み前(年2回) ①-2 クールビズ(5月1日～10月31日)、 ウォームビズ(冬季) ①-3 7月1日～9月30日
成果指標	成果指標になじまない。
R2実績値	①-1 各小中学校、役場職員へWEB参加での取組を周知。 ①-2 広報かわじまやHPで町役場において実施している旨周知。 ①-3 役場を含む町内7箇所で実施。
R3目標値	目標設定になじまない。
最終目標値(終期)	目標設定になじまない。
進捗状況(%) R2実績値／R3目標値	目標設定になじまない。
課題	①-1 県ホームページへ直接申し込みとしたので、参加者数等町では把握できない。 ①-2 真夏日(最高気温30°C以上)、猛暑日(最高気温35°C以上)、が増える傾向にある。クールビズは浸透しているが、過度な省エネについては、職場環境の悪化につながる恐れがある。
実施・進捗状況評価	一：評価に馴染まない(数値目標に馴染まない等)
目標達成度評価	一：評価に馴染まない(数値目標に馴染まない等)
担当課	市民生活課(生活環境グループ)

施策取組状況確認シート	
基本方針	4 環境保全活動の推進
対象分野	3 環境教育・環境学習
環境保全の目標	環境教育・環境学習の推進により、町民や事業者の環境保全意識を高揚します。
行政の施策	① 環境情報の提供の推進 ② 環境教育・環境学習の活発化
取組事業名	① 環境情報の提供 ② 3R運動推進事業
計画期間	① 令和11年度まで ② 令和11年度まで
成果指標	①②共通で、町民に対して環境問題の情報を共有すること
R2実績値	① 広報紙へのごみ情報の掲載、HPへの環境情報の掲載、ごみ分別アプリによる情報発信。 ②小学生施設見学。
R3目標値	①身边に取り組める情報を隨時、発信していく。 ②幅広い層への、情報発信と理解度を高めるための仕掛けづくり
最終目標値(終期)	①②共通で、継続していく。
進捗状況(%) R1実績値／R2目標値	①②共通で、数値での表現は困難。
課題	環境問題をより身近な問題として、日常生活の中で、環境保全活動に取り組んでもらうことへの情報発信。
実施・進捗状況評価	○：概ね実施・進行している。
目標達成度評価	△：目標を下回った(目標に対し80%未満)
担当課	町民生活課(ゼロ・ウェイスト推進室)

施策取組状況確認シート

基本方針	4 環境保全活動の推進
対象分野	3 環境教育・環境学習
環境保全の目標	環境教育・環境学習の推進により、町民や事業者の環境保全意識を高揚させる。
行政の施策	① 環境情報の提供の推進 ② 環境教育・環境学習の活発化
取組事業名	①、② 田園環境の保全と農業の活用(みどりの学校ファームなどの農業体験事業を促進し、環境教育を推進する。)
計画期間	① 随時実施 ② 毎年度実施
成果指標	①随時対応しており目標設定になじまない。 ②学校で定期的に取り組んでいるため目標設定になじまない。
R2実績値	①毎年度、川島町みどりの学校ファーム推進協議会を開催し、関係機関との情報交換を行った後、各校でそれぞれ農業体験を行い、環境教育の推進が図れた。 ②毎年度、川島町みどりの学校ファーム推進協議会を開催し、関係機関との情報交換を行った後、各校でそれぞれ農業体験を行い、環境教育の推進が図れた。
R3目標値	①随時対応しており目標設定になじまない。 ②学校で定期的に取り組んでいるため目標設定になじまない。
最終目標値(終期)	①随時対応しており目標設定になじまない。 ②学校で定期的に取り組んでいるため目標設定になじまない。
進捗状況(%) R2実績値／R3目標値	①随時対応しており目標設定になじまない。 ②学校で定期的に取り組んでいるため目標設定になじまない。
課題	特になし。
実施・進捗状況評価	—:評価に馴染まない(数値目標に馴染まない等)
目標達成度評価	—:評価に馴染まない(数値目標に馴染まない等)
担当課	教育総務課(学校教育グループ)

施策取組状況確認シート	
基本方針	4 環境保全活動の推進
対象分野	3 環境教育・環境学習
環境保全の目標	環境教育・環境学習の推進により、町民や事業者の環境保全意識を高揚させる。
行政の施策	① 環境情報の提供の推進 ② 環境教育・環境学習の活発化
取組事業名	環境教育・環境学習の活性化(小・中学生を対象としたごみ処理施設見学会)
計画期間	① 随時実施 ② 毎年度実施(令和2年度は新型コロナウイルスの影響で、中山小学校、つばさ南小学校のみ実施)
成果指標	① 随時対応しており目標設定になじまない。 ② 学校で定期的に取り組んでいるため目標設定になじまない。
R2実績値	① 随時対応しており目標設定になじまない。 ② 学校で定期的に取り組んでいるため目標設定になじまない。
R3目標値	① 随時対応しており目標設定になじまない。 ② 学校で定期的に取り組んでいるため目標設定になじまない。
最終目標値(終期)	① 随時対応しており目標設定になじまない。 ② 学校で定期的に取り組んでいるため目標設定になじまない。 ※ただし、川島町のごみ減量化削減目標の趣旨を意識して実施している。
進捗状況(%) R2実績値／R3目標値	① 随時対応しており目標設定になじまない。 ② 学校で定期的に取り組んでいるため目標設定になじまない。 ※ただし、川島町のごみ減量化削減目標の趣旨を意識して実施している。
課題	小中学校では、様々な教育を行っているため、環境教育・環境学習について、十分時間を確保できない。
実施・進捗状況評価	—:評価に馴染まない(数値目標に馴染まない等)
目標達成度評価	—:評価に馴染まない(数値目標に馴染まない等)
担当課	教育総務課(学校教育グループ)

施策取組状況確認シート

基本方針	4 環境保全活動の推進
対象分野	3 環境教育・環境学習
環境保全の目標	環境教育・環境学習の推進により、自然環境保全に向けた意識を高める。
行政の施策	①環境情報の提供の推進 ②環境教育・環境学習の活発化
取組事業名	①地域子ども教室(各地区6箇所で実施) ②自然体験教室
計画期間	①平成18年度から実施中 ②平成26年度から実施中
成果指標	①各地区の体験活動における環境学習の導入件数 ②体験活動の参加者数
R2実績値	①新型コロナウイルス感染症の影響により、全教室が中止となった。 ②新型コロナウイルス感染症の影響により、講座を実施することができなかつた。
R3目標値	①「環境学習」を主題とした活動を実施する。 実施例:「米ぶくろで作るエコバック」(中山つ子くらぶ)、「魚釣り」(三保谷、ハツ保、小見野つ子くらぶ)、「川のふしぎを知ろう!~川の博物館見学~」(ハツ保つ子くらぶ) ②荒川太郎右衛門地区自然再生協議会等、荒川流域の自然保護活動を行っている団体や、町内の企業等と連携し、「環境学習」を主題とした講座を実施する。講座参加者数20名を目標とする。
最終目標値(終期)	①各教室において「環境学習」を主題とした活動を年間1回程度実施する。 ②講座参加者数20名を目標とする。
進捗状況(%) R2実績値／R3目標値	①0%/100%(実績0教室、目標4教室) ②0%/100%(実績0人、目標20人)
課題	①実施年に応じて魚釣りや稲刈り、野菜収穫、芋ほりといった活動を通して、環境について学んでいるものの、環境を主題とした活動数が少ない。今後、増やしていくとともに、既存の活動の中で環境問題にぶれることができるよう構成を工夫したい。 ②天候に左右されるため、実施が安定しない。また、自然環境の保全という趣旨だけでは参加者の興味・関心を得ることが難しく、娛樂的な要素を組み合わせる等の工夫が必要である。
実施・進捗状況評価	—:評価に馴染まない(数値目標に馴染まない等)
目標達成度評価	○:概ね達成した(目標に対して80%以上100%以下を達成)
担当課	生涯学習課

施策取組状況確認シート	
基本方針	4 環境保全活動の推進
対象分野	4 環境保全活動
環境保全の目標	地域が一体となった環境保全活動の推進により、『良好な地域社会が良好な地域環境をつくり、良好な地域環境が良好な地域社会をつくる』という環境と社会の好循環を形成する。
行政の施策	① 自発的な環境保全の取り組みの推進 ② 連携・協力による環境保全の取り組みの推進
取組事業名	① エコアクション21認証取得に向けた無料講習会開催 ②-1 「埼玉県央域荒川クリーン協議会」による一斉撤去 ②-2 「安藤川をきれいにする会」による安藤川クリーン作戦
計画期間	① 年間全4回を予定。 ② 令和2年11月5日、6日 ③ 令和2年11月28日
成果指標	① 参加団体数 ② 成果目標になじまない
R2実績値	① 川越市、日高市、富士見市、坂戸市、三芳町と合同で講習会を開催。参加企業は無料で受講できる。講習会開催のための事前打合せ、町HPや町広報紙による事前周知、10人以上の従業員を要する企業あて紹介文書送付。町商工会役員会におけるPR。 ②-1 埼玉県央域荒川クリーン協議会と連携して、規模縮小して実施。 ②-2 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止。
R3目標値	① 5団体
最終目標値(終期)	① 5団体(町内団体の増加を図る)
進捗状況(%) R2実績値／R3目標値	① 40%(R2実績値 2団体／R3目標値 5団体)
課題	① 町HP、広報等で周知を行ったが、町内からの参加はなかったため、継続的な周知が必要。
実施・進捗状況評価	△:やや取組が遅れている
目標達成度評価	△:目標を下回った(目標に対し80%未満)
担当課	町民生活課(生活環境グループ)

川島町環境基本計画(基本方針と施策の体系)

美しい 環境像	基本方針	対象分野	目 標	町の取り組み(行政の施策)	実施・進歩 評価		目標達成 評価
					◎:0	○:1	
美しい 景観・自然 との共生 快適で活 力ある かわじま	①自然環境の保全	1 自然景観	自然景観の形成により、田園景観を適正に保全します。	①田園環境の保全と農業の活用 ②自然環境の保全・創出に向けた広報・PR	◎:0	○:1	△:2
					×:0	×:0	-:3
		2 河川、水辺	水辺空間を保全・回復し、身近な自然としての利用を推進します。	①水辺空間の保全の推進 ②水辺空間の利用の推進	◎:0	○:0	△:0
					×:0	×:0	-:2
	③動植物、生態系	3 動植物、生態系	本来の生態系を回復し、貴重な生態系を未来に伝えます。	①生物生息空間の確保 ②外来生物対策の推進	◎:0	○:0	△:0
					×:0	×:0	-:1
	④自然とのふれあい	4 自然とのふれあい	自然とのふれあいの推進により、自然環境保全に向けた意識を高めます。	①自然とふれあえる場の整備 ②自然とふれあう機会の充実	◎:0	○:1	△:0
					×:0	×:0	-:1
	⑤生活環境の保全	1 大気環境	大気質の監視を継続し、大気汚染の未然防止に努めます。	①大気環境への負荷軽減 ②大気環境の監視と保全意識の高揚	◎:0	○:0	△:0
					×:0	×:0	-:1
		2 水環境	四方を河川に囲まれた美しい水辺環境を守るために、生活排水の適正処理と水質の監視により、より良い水環境を創出します。	①適正な排水対策の推進 ②水質の監視と保全意識の高揚	◎:0	○:2	△:0
					×:0	×:0	-:0
	⑥快適環境の保全	3 駆音・振動	騒音公害等の少ない、静かで落ち着いた環境を守ります。	①騒音・振動対策の推進 ②公害公害の適正処理	◎:0	○:0	△:0
					×:0	×:0	-:1
		4 その他公害防止	公害の未然防止により、良好な生活環境を確保します。	①化学物質対策の推進 ②その他公害防止に向けた取り組みの実践	◎:0	○:0	△:0
					×:0	×:0	-:0
	⑦地域活性化の推進	1 公園・緑地	公園・緑地の適正管理や景観の創出により、快適な地域環境を形成します。	①公園・緑地の適正な整備と維持・管理 ②良好な景観の形成・創出	◎:0	○:1	△:0
					×:0	×:0	-:0
		2 歴史・文化	地域の特徴や個性を活かしながら、後世に残すよう努めます。	①文化財の保護	◎:0	○:1	△:0
					×:0	×:0	-:0
	⑧環境保全活動の推進	3 廃棄物・リサイクル	適正なごみ処理事業を継続し、環境への負荷の削減に努めます。	①ごみの減量化の推進 ②リサイクルと適正処理の推進	◎:0	○:0	△:1
					×:0	×:1	-:0
		4 環境美化・不法投棄対策	ごみの散乱や不法投棄の無い清潔な地域環境の創出に努めます。	①美化運動の推進 ②不法投棄対策の充実・強化	◎:0	○:0	△:0
					×:0	×:0	-:1
	⑨環境保全活動の推進	1 地球温暖化防止	地球温暖化防止に向けて、日常の生活や事業活動を見直します。	①町の事業事務から温室効果ガスの排出削減 ②市民や事業者の意識向上	◎:2	○:0	△:0
					×:0	×:0	-:1
		2 省エネ・省資源	適切な支援策により、家庭や事業所での効率的な省エネを推進します。	①省エネ・省資源の取り組み、省エネ機器の普及促進 ②自動車利用に際しての省エネの推進	◎:0	○:1	△:0
					×:0	×:0	-:1
		3 環境教育・環境学習	環境教育・環境学習の推進により、町民や事業者の環境保全意識を高揚します。	①環境情報の提供の推進 ②環境教育・環境学習の活発化	◎:0	○:1	△:1
					×:0	×:0	-:2
		4 環境保全活動	地域が一体となった環境保全活動の推進により、「良好な地域社会が良好な地域環境をつくり、良好な地域環境が良好な地域社会をつくる」という環境と社会の好循環を形成します。	①自発的な環境保全の取り組みの推進 ②連携・協力による環境保全の取り組みの推進	◎:0	○:0	△:1
					×:0	×:0	-:0
					◎: 5	○: 2	△: 12
					×: 13	△: 0	-: 15